

Dekguard P20



constructive solutions

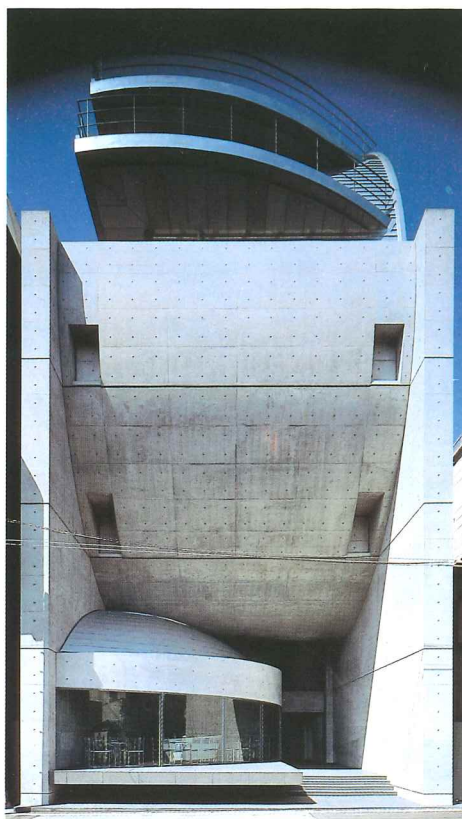
高度の防水防塩

美観の保持

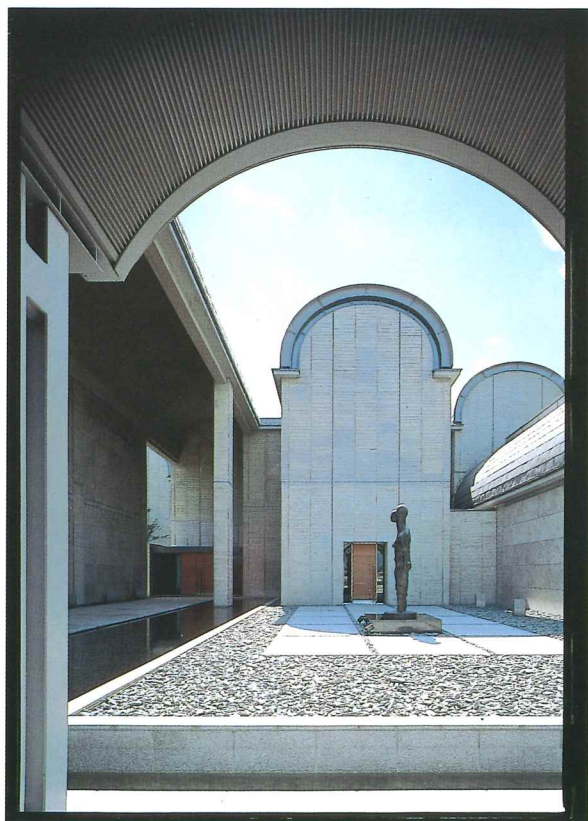
無色透明

高性能浸透性撥水剤

デックガード P20



U.A.K
設計/
樫永一男建築研究所



富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
設計/柳澤孝彦+TAK建築・都市計画研究所



デッキガードP20はシランシロキサンをベースとする撥水剤で、デッキガード・プライマーを質（組成）と量（固形量）の両面から大きく改良した高性能タイプです。簡単に塗るだけで、通気性を妨げずに、コンクリート躯体とその内部の鉄筋を水分や塩化物の浸透から保護します。また、無色透明で下地のツヤや色調をほとんど変えません。最近、米国ミネソタ州運輸局は、橋面コンクリート舗装で塩化物イオン浸透防止の比較現場試験を行いました。3年間にわたる追跡調査の結果、様々な表面処理工法の中で、最も優れた保護効果を発揮したのがデッキガードP20です。

性 状 と 荷 姿

シランシロキサンを基材とする溶剤ベースの無色透明液体、比重約0.785（20℃）、18ℓ缶入り。

主な用途と下地

一般建物、橋梁、高架道路、海洋施設、発電所などにおけるコンクリート、モルタル、れんが、天然石などの表面の保護。内外壁、支柱、屋根に加えて、軽交通の床や舗装にも使用可能。

特 長

- 原液を2回塗るだけの簡単な処理で、特殊技能を必要としない。
- 水分や塩分の浸透を大幅に減少させる。
- 通気性があるので、内部の湿気がこもらず自由に外部へ発散する。
- 無色透明なので、下地の色調、肌目、光沢をほとんど変えない。
- 凍結融解のサイクルに対する抵抗性が増大する。
- 白華現象（エフロレッセンス）を防止する。
- 下地に深く浸透する。
- 各種融氷剤（塩化カルシウムなど）、燃料類、油脂類、大気汚染物質などに耐える。
- 最新の科学技術による最も耐久的な浸透性撥水処理工法である。

代表的試験結果

吸 水 減 少 率： 82%（28日）

塩化物イオン浸透減少率： 90%（28日）

水 蒸 気 透 過 性： 210g/m²/日



留 意 事 項

デックガードP20は従来の撥水剤と異なり固形量が20%もあるので、下地の吸水性の影響を受けて色違いを生じることがある。次の下地に施工する場合には、必ず事前に小さな箇所で試し塗りして、望ましい効果が得られるかどうかを確かめておくこと。

◎吸水性が非常に低い： 高密度コンクリート成型板、ポリマー系モルタル、一部の天然石など

◎吸水性が非常に高い： 粗面ブロックなど

作 業 方 法

- (1)下地は構造的に健全で乾燥していること。油脂分、既存の塗料、ぼろつき、苔などを充分清掃除去する。また、最大限浸透させるために、ワイヤブラシ、軽度のブラスト処理または酸洗いにより表面のレイトランスを除去しておくことよい。酸洗いした場合には、特に入念に水洗いしてから乾燥させる。
- (2)デックガードP20が周囲に飛び散らないように養生（マスキング）を充分にしておくこと。特に植物、ガラス、アスファルト、プラスチック、塗装面などの表面を保護する。
- (3)シーリング材の施工はデックガードP20の前に行うこと。ただし、デックガードP20は油性シーリング材を溶かすことがあるので、事前に試し塗りして影響のないことを確認しておく。通常の樹脂系シーリング材の場合は中1日おけば、その上にデックガードP20を塗っても表面が少し軟化する程度で乾燥すれば問題はない。
- (4)施工前のデックガードP20原液が水分と接触しないように注意すること。
- (5)ハケ、ローラー又は低圧のスプレー（園芸用噴霧器）によりデックガードP20をたっぷり、くまなく塗布する。コンクリートの場合の標準塗布量は $0.3 \sim 0.4 \text{ l/m}^2$ である。このためには約 $0.15 \sim 0.20 \text{ l/m}^2$ の割合で、6時間以上のインターバルをおいて2回塗りする。
- (6)使用道具は作業後直ちに適切なシンナー（ミネラルスピリット、キシレンなど）で洗うこと。

注 意 事 項

デックガードP20は可燃性溶剤を含有し引火点 38°C である。

- (1)作業中は充分に換気をして、裸火を近づけてはならない。また、揮発した溶剤を吸入しないように注意すること。
- (2)目や皮膚に接触しないように注意し、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用すること。万一、接触した場合には直ちに大量の水で洗うこと。

Dekguard P20

CREDENCE

クリディエンス株式会社

フォスロック日本総代理店

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-3-3F

TEL: 03-4590-0200 FAX: 03-3409-3898

URL: <http://www.crdc.co.jp> E-mail: crdc@crdc.co.jp



製造元:

Fosroc Global Trading Limited

改定日: 2009 年 12 月 1 日

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は

発 売 元

建設材料コンサルタント

東亜貿易株式会社

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目 大阪駅前第2ビル

電話 06 (6346) 0212(代) ファックス 06 (6346) 0226

URL <http://www.toaboeki.com> E-mail em@toaboeki.com